



## 「共につくる 住み続けたいまち すかがわ」を目指して

須賀川市長 橋本克也

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月に福島県沖を震源とする地震が発生し、本市でも住家や公共施設などが大きな被害を受けたほか、6月の中通りを中心とした降ひょうにより、本市では果樹やキュウリなどの野菜について過去2番目となる被害が発生するなど、度重なる自然災害により市民生活に大きな影響を受けた年でありました。

また、新型コロナウイルス感染症については、一昨年に続き変異ウイルスが猛威を振るい、8月の第7波では、県内に「福島県医療非常事態宣言」が発令されるなど、これまでに経験したことのないスピードで感染が拡大し、現在の第8波も私たちの生活や経済活動に深刻な影響を与えております。

市民の皆様におかれましては、引き続き、警戒を緩めることなく、一人ひとりが危機感を持って、基本的な感染防止対策に取り組んでいただき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力いただきますようお願いいたします。

さて、今年には本市の最上位計画であり、今後5年間のまちづくりの指針となる第9次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン2023」の初年度となる年であり、本計画は、人口減少や少子高齢化の進行など

エスディジェス

の時代の潮流を捉えながら、SDGsの理念を反映した持続可能なまちづくりを目指すものであり、将来都市像については「共につくる 住み続けたいまちすかがわ」とし、市民や本市に関わる全ての人が、まちへの誇りや愛着を育み、このまちを構成している一人であるという気持ち、いわゆる「シビックプライド」の醸成を図るため、子育て環境の充実など、14の政策と46の施策を定めております。

また、本計画のスタートに合わせて「次の10年」を見据えた政策課題に的確に対応するとともに、各種施策を効果的・効率的に推進するため「市民協働推進部」を新たに創設するなどの行政組織改編を行う考えであります。

さらに、今回の行政組織改編に合わせて、生涯学習機能を担う現在の公民館を、新たにコミュニティセンターとして設置することとしております。コミュニティセンターでは、それぞれの地域特性を生かしたまちづくりを推進していくほか、地域住民と行政をつなぐ橋渡しを円滑にし、災害時などにおいては、地域防災活動の中心とするなど、多様な機能を有する地域の拠点づくりに努めてまいりますので、引き続き、市政に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。



## 市民目線に立った 建設的な議論を

須賀川市議会議長 五十嵐 伸

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えることと、お慶び申し上げます。令和5年の年頭に当たり、須賀川市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いも3年となり、未だ先が見通せない状況は、市民生活や地域経済に計り知れない影響を与えております。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響により制限も多くありましたが、感染予防対策と社会経済活動の両立を目指した1年でもありました。

本市では、松明あかしが3年振りに有観客で行われ、また、円谷幸吉メモリアルマラソン大会では、全国から参加したランナーが健脚を競い合うなど、少しずつ以前のようになんらかの行事が開催されている状況です。

そのような中、議会活動といたしましては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ見合わせていた行政視察の実施および受け入れについて再開いたしました。各常任委員会において、政策を提言すべく、積極的な調査活動を展開してまいりたいと考えております。

さて、本年度の市政の大きな動きとしては、翠ヶ丘公園内において整備を進めてきた「Park-PI事業」を活用したカフェのオープン、さらには、令和

7年度の供用開始に向け整備が始まった「須賀川駅西地区都市再生整備事業」などがあります。これらにつきましては、常任委員会が自らテーマを選定し、継続して調査を進め、その結果を当局に対して提言するとともに、意見交換を実施しながら、市民の声を市政に反映してきた事業であります。

今後も引き続き、各議員が市民の声を傾け、市民目線に立った建設的な議論を重ねるなど、議会活動に積極的に取り組んでまいり所存であります。今後の展望といたしましては、議会改革や円滑な議会運営の取り組みの一環として、タブレット端末を導入し、議会資料のデジタル化を進めるとともに、災害情報をはじめ、情報の効率的な収集・共有を図るなど、議会のICT化を推進していく考えであります。

さて、本市議会は今年9月に改選の時期を迎えます。二元代表制の一翼を担う立場として、市民を代表する意思決定機関である議会の役割と責任を果たすべく、須賀川市の将来を見据え、行政と議会が互いに切磋琢磨しながら、引き続き、市民の負託に応えられるよう取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、須賀川市の更なる発展と市民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。